

館内企画展2014年度

平和祈念展示資料館

2014年度

2015年2月1日

企画展『未公開資料展-帰国にまつわる資料を中心に-』
日時：平成27年2月14日(土)～4月19日(日)午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2014年10月3日

企画展『カメラがとらえた引揚げと子どもたち』
日時：平成26年10月28日(火)～平成27年1月25日(日)
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

2014年9月10日

特別交流展「引揚港・博多」
日時：平成26年9月23日(火・祝)～10月26日(日)
場所：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2014年5月7日

企画展『酷寒の地シベリアを描く 早田貫一抑留絵画展』
日時：平成26年6月24日(火)～9月21日(日)
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



企画展『酷寒の地シベリアを描く 早田貫一抑留絵画展』

早田氏は、昭和18(1943)年に学徒出陣し、満州(現・中国東北部)へ渡りました。昭和20(1945)年に終戦を迎え、ソ連軍による武装解除の後、ハバロフスク州コムソモリスクの収容所などで約3年間に及ぶ抑留生活を送りました。昭和23(1948)年に帰国してからは、自身の抑留体験についてほとんど語ることはありませんでしたが、長い年月を経て、封印していた当時の記憶を水彩画で表現しました。そこには、苦しくつらい体験が描かれ、亡くなった戦友への想いが込められています。

今回の企画展では、早田氏の絵画を通じて、シベリアなどの酷寒の地において、乏しい食料と劣悪な生活環境の中で、過酷な労働に従事させられた「戦後強制抑留者」の方々の労苦を紹介します。



日 時 平成26年6月24日(火)～9月21日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日：7月14日(月)、8月24日(日)

会 場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

- 前期：6月24日(火)～8月8日(金)
- 後期：8月9日(土)～9月21日(日)

早田貫一(はやたかんいち)氏プロフィール

大正10(1921)年、佐賀県生まれ。昭和18(1943)年に学徒出陣し、約3年間のシベリア抑留を体験する。帰国後は英語教師として秋田県で勤務。在職中より絵を描きはじめ、退職後も主に風景画を中心に制作を行う。シベリア抑留をテーマとした作品も多く手がけている。平成23(2011)年没。享年90歳。

トークイベント

抑留者を勇気づけたメロディー「異国の丘」を題材に2つのトークイベントを開催します。

作曲家 吉田正さんの音楽で知るシベリア抑留

日時：8月9日(土) 午後2時～
出演：谷田郷土(音楽プロデューサー・吉田事務所)
スーマー(ミュージシャン)
田久保忠衛(平和祈念展示資料館参与/杏林大学名誉教授)

劇団四季「ミュージカル 異国の丘」で知るシベリア抑留

日時：8月16日(土) 午後2時～
出演：劇団四季制作プロデューサー
増田弘(平和祈念展示資料館名誉館長/東洋英和女学院大学教授)

ギャラリートーク

当資料館学芸員が展示解説を行います。企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時：7月5日(土)、8月30日(土)、9月6日(土) 各日午後2時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

※8月30日(土)は早田貫一氏のご家族を迎えてギャラリートークを実施します。

夏休み期間中：7月19日(土)～8月31日(日)は、夏の特別イベントを開催します。



鉄道建設（前期）



交換（前期）



シベリアへ(後期)



懲役25年(後期)

特別交流展「引揚港・博多」

平和祈念展示資料館では、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、国民の理解を深める機会を提供するための事業のひとつとして、他館と連携した平和祈念交流展を実施しています。

この度は、福岡市と連携し、特別交流展「引揚港・博多」を当資料館にて開催します。

この特別交流展では、福岡市が所蔵し、資料展「引揚港・博多」で展示している資料を中心に、戦後わずか1年半の間に139万人を受け入れ、引揚港としては最大規模であった博多港に関連する写真や資料などをパネルで紹介します。



- 日 時** 平成26年9月23日(火・祝)～10月26日(日)
午前9時30分～午後5時30分 (入館は午後5時まで)
- 会 場** 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー
- 主 催** 平和祈念展示資料館／福岡市

なお、福岡市では、下記の常設資料展示を行っています。

■■資料展「引揚港・博多」～苦難と平和への願い～■■

- 会 場** 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)・1階ホール横木ワイエ
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号
- 開館時間** 午前9時～午後9時
- 休館日** 毎月第3火曜日(祝日の場合、翌日)
- 入館料** 無料
- 連絡先** 展示内容については、福岡市保健福祉局総務部総務課
TEL : 092-711-4493 / FAX : 092-733-5587
会場については、福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)
TEL : 092-731-2929 / 092-731-2934

資料展「引揚港・博多」～苦難と平和への願い～の情報は[こちら](#)

企画展『カメラがとらえた引揚げと子どもたち』

戦による混乱の中、命さえ危ない状況で生活のすべてをなくし、必死の思いで日本に戻ってこられた約320万人におよぶ「海外からの引揚げ者」の方々がいます。その中には、生まれたばかりの赤ん坊や、やっと歩けるようになった小さな子どもたちもいました。

今回の企画展では、飯山達雄氏と三宅一美氏が撮影した写真を中心に、引揚げ船の様子や子どもたちの姿を紹介します。二人の写真を通して、終戦を迎えても終わることのなかった引揚げの労苦を感じていただければ幸いです。

日 時 平成26年10月28日(火)～平成27年1月25日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日：平成26年11月25日(火)、12月22日(月)、
平成26年12月28日(日)～平成27年1月4日(日)

会 場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期中、一部展示替えを行います。

飯山達雄(いいやまたつお)氏プロフィール

明治37(1904)年横浜生まれ 写真家・探検家

6歳で家族とともに朝鮮へ渡り、少年の頃から写真と登山に興味を持ち、戦争前は朝鮮総督府鉄道局で広報の仕事に携わる。終戦まで在鮮し、昭和20(1945)年に一旦引き揚げると、中国で引揚げを待つ多くの日本人の惨状を広く伝えるため、昭和21(1946)年7月中国に再び渡航し、引揚げの実態取材した。

三宅一美(みやけかずよし)氏プロフィール

大正4(1915)年京城(現・ソウル)生まれ

終戦後、勤務先であった朝鮮電業の日本人社員たちの引揚げを斡旋した後、昭和20(1945)年9月より釜山の日本人世話会メンバーとなり、昭和23(1948)年7月まで、北朝鮮からの引揚げ者の世話をを行う。そのかたわら、引揚げの様子を記録に残そうと、貴重な写真を数多く撮影した。

増田昭一作品で知る 引揚げと孤児たちの物語

今回の企画展に関連して、自らの引揚げ体験を絵本や小説として執筆されている増田昭一氏の作品をとりあげます。引揚げの混乱により孤児となり、満州(現・中国東北部)の収容所で命を落としていった子どもたちの物語を、読み語りと今夏放送されたドラマで紹介します。

絵本読み語り「金のひしゃく」(絵・文 増田昭一)

日時：平成26年11月22日(土) 午後1時～、午後3時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

出演：渡辺郁也(俳優・タイムリーオフィス所属)※右の写真



ドラマ上映「遠い約束～星になった子どもたち～」(原作 増田昭一)

日時：平成26年12月20日(土)、平成27年1月17日(土) 各日午後2時～(約120分)

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

協力：TBSテレビ「テレビ未来遺産"終戦69年"ドラマ特別企画 遠い約束～星になった子どもたち～」

平成26(2014)年8月25日放送 ©TBS

■参考情報

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭参加作品「遠い約束～星になったこどもたち～」



ギャラリートーク

当資料館学芸員が展示解説を行います。企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時：平成26年12月6日(土)、平成27年1月10日(土) 各日午後2時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

企画展『未公開資料展-帰国にまつわる資料を中心に-』

今回の企画展では、南方の捕虜収容所で帰国を待つ兵士たちが綴った雑誌や、抑留者の留守家族が帰国を促進するために起こした運動に関する書類など、常設展やこれまでの企画展では公開していない、貴重な資料を展示します。

あわせて、過去の企画展の中から、終了後も展示を望む声が多かった、「星輝中学校」をはじめとする満州(現・中国東北部)の学校に関する資料も再度展示します。

日 時 平成27年2月14日(土)～4月19日(日)
午前9時30分～午後5時30分 (入館は午後5時まで)
休館日:3月23日(月)

会 場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

■前期：2月14日(土)～3月22日(日)

■後期：3月24日(火)～4月19日(日)

■■ギャラリートーク■■

学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時：2月21日(土)・3月14日(土)・4月11日(土) 各日午後1時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



帰国を待つ兵士が作った雑誌



南方からの帰国時に着た服



五完運動の宣言(前期)



引揚者が帰国時に使った手さげ袋



帰還促進運動の写真



帰還促進連盟の歌(後期)